

このような状態のまま、ベルトをお使いではありませんか？

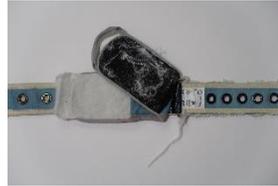
①鳩目の脱落（ベルト芯や縁テープなどの破損なく、鳩目の単純脱落）
※初期不良の場合は無料修理となります。



❗ ピンのすり抜けや芯地の破損につながる恐れがあります。

鳩目の取付け修理が可能です。

②手部／脚部用ベルトのマジックテープの接着力が落ちている。装着後引っ張るとすぐ外れてしまう。



❗ 抑制中にマジックテープが外れる恐れがあります。

マジックテープの張り替え修理が可能です。

③ベルト芯が露出していたり、縁テープの損傷が広範囲に渡っている。また、ベルトそのものの生地が薄くなっている。



❗ 本来のベルトの性能が失われ、重大事故につながる恐れがあります。

修理はお引き受けできませんので、新品をご購入ください。

- 修理は基本的に、PINEL#4「手部／脚部用ベルト」のマジックテープ張替え、周辺生地の損傷を伴わない部位の鳩目付替えとなっております（ボタン・ピンなどの付属品、キャリングバッグは対象外）。
- ベルトの縁テープの修理やループ部の修理など上記以外に関する修理は、ベルト全体の状態より安全性を保つことが難しいと判断したものは、修理をお引き受けいたしかねる場合がございます。
- 修理不能の場合は、当社より同等品を新規購入された場合のお見積りをご案内いたします。
- ベルトの耐用年数（5年）を超過しているものや、旧型の腹部用ベルト（胴体部と左右ストラップ部が一体型構造）については、修理対象外となる可能性がございます。